

# ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報						
組織名・所属	株式会社地域活性プランニング					
役職	代表取締役					
氏名	藤崎 慎一	ふりがな	ふじさき しんいち	生年	1962年	
連絡先	住所	〒 105-0003 東京都港区西新橋一丁目11番3号 虎ノ門アサヒビル7F				
	電話	03-5157-0567	携帯電話		メールアドレス	① <a href="mailto:soumu@chiikassei.co.jp">soumu@chiikassei.co.jp</a> (■を@に変えて下さい)
2. 経歴・取組内容・取組分野等						
主な経歴・受賞歴	<p><b>メディア・TV・映画制作者1万人が購読！聖地巡礼・ロケツーリズムの先進事例が満載！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国内唯一のロケ地情報誌「ロケーションジャパン」 発行人</li> <li>『ガイアの夜明け』で紹介！ドラマ制作利用者90%のロケポータルサイト</li> <li>●映像業界No.1ロケポータルサイト「ロケなび！」 プロデュース(代表取締役)</li> <li>●561団体(自治体・企業)が参加！“地域の魅力を効果的に発信する手法＝ロケツーリズム”</li> <li>●一般社団法人「ロケツーリズム協議会」 会長・代表理事</li> <li>メディア359媒体で紹介！全国55地域が出展する地方創生イベント</li> <li>●「行きたいまちNo.1」を競い合う！シティープロモーションイベント「全国ふるさと甲子園」 実行委員長</li> </ul> <p>【プロフィール】 1986年(株)リクルート入社。全社最優秀経営者賞を2年連続受賞。地域活性事業部GMとして、観光振興をはじめ、雇用・定住・教育等地域活性に関する企画・プロデュースに従事。その実績から中央省庁、都道府県等の委員を歴任。2003年(株)地域活性プランニングを設立。企業コンサルティングの知見を活用し、自立可能な地域活性の仕組みづくりと人材育成を指導。また国内唯一のロケ地情報誌「ロケーションジャパン」(3.5万部)の発行人として、地域の魅力を効果的にPRする手法“ロケツーリズム”を提言し、全国の自治体でシビックプライドの醸成や官民一体のまちづくりを実践。</p> <p>【主な委員会等】 2019年「一般社団法人ロケツーリズム協議会」 会長(観光庁後援) 2014年「ふるさとづくり有識者会議」 委員(内閣官房) 2013年「世界にも通用する究極のお土産フォーラム」プロデュース(観光庁・復興庁) 2012年「ロケツーリズム研究会」 座長(東京都) 2011年「地域再生マネージャー」 (地域総合整備財団/ふるさと財団) 2010年「地域活性キーパーソン」 座長(内閣官房・経済産業省) 2009年「地域活性化伝道師」 (内閣官房 都市再生本部) 2009年「地域力創造アドバイザー」 (総務省) 2007年「地域中小企業サポーター」 (経済産業省) その他 「ロケ地データベース委員会」 委員長(愛知県) 「愛知観光策定委員会」 委員(愛知県)</p>					
	主な取組内容・実績等	<p>●<b>地域の魅力を効果的に発信！ウイズコロナにおける観光の起爆剤「ロケツーリズム」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016～2018年度と観光庁「テーマ別観光による地方誘客事業」に選定。2019年度より一般社団法人化し、会長・代表理事を務める。</li> <li>・のべ561団体(地方自治体・企業)が参加し、年5回のセミナー・GWの実施、旅・情報番組/映画/ドラマ等の映像制作者とのマッチング、「ロケツーリズムアワード」の表彰、認定テストに合格した団体・個人へ「LTC認定証」を発行。</li> <li>・国内外に向け、地域の魅力を効果的に発信&amp;経済効果を生むプロモーション方法として、メディアも紹介⇒『ガイアの夜明け』『ワールドビジネスサテライト』『サンデーLIVE!!』『朝日新聞』『観光経済新聞』『旬刊旅行新聞』『日経グローバル』</li> </ul> <p>●<b>地方創生イベント「全国ふるさと甲子園」の総合プロデュース</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年より、内閣官房「ふるさとづくり有識者会議」において“ふるさとの魅力”を伝えるリアルな場として各省庁の後援を受け、「全国ふるさと甲子園」実行委員会が発足&amp;主催、その実行委員長を務める(2019年で第5回を実施、以降コロナにより延期)。</li> <li>・全国55地域がロケ地×ご当地グルメで魅力をアピール。一般来場者・審査員の投票で「行きたいまちNo.1」を決定！約400ものメディアが取り上げる、シティープロモーションの祭典。</li> <li>・第1回グランプリは兵庫県淡路島⇒『あさが来た』『まんぷく』など朝ドラの舞台に選ばれ、翌年の入込観光客数が112%UPに。</li> <li>・『ZIP!』『ワールドビジネスサテライト』『新週刊・フジテレビ批評』で紹介！</li> </ul> <p>●<b>地域コンサルティング事業</b></p> <p>【神奈川県綾瀬市】～何も無いまちから、イケメンの集う“ロケのまち綾瀬”へ！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業者パワーアップ事業から2014年に官民一体組織「ブタロケ隊」を結成&amp;「あやせとんすきメンチ」開発をプロデュース。ドン・キホーテで販売、2020年までで7万3千食を販売(現在、市内で8事業者で販売中)。</li> <li>・2021年までの約7年間で映画やドラマ等153作品が決定、広告換算効果は約40億円。</li> <li>・ロケ地を観光資源としてロケ地MAPを作成、ロケ地に設置するロケ地パネルにファンが訪れ、何も無いまちから“イケメンの集うロケのまち”として雑誌「AERA」で特集。2020年内閣官房「ふるさとづくり事例集」にも成功地域事例として紹介。</li> </ul> <p>【千葉県茂原市】～産業のまちから「ロケで話題のまち・もばら」として、メディアから注目！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年に市が「住んでよし、働いてよし、訪れてよし」とイメージアップを目的として、官民連携組織「千葉もばらロケーションサービス」を設立、情報発信を開始。</li> <li>・約4年で1225作品の間合せ、178作品を誘致。2020年10月～約3カ月で、映画『浅田家』『罪の声』『青くて痛くて脆い』3作品のパネル展を開催。ウイズコロナにおいても約1万人が来場し話題に。</li> <li>・2019年「第5回全国ふるさと甲子園」行きたいまちグランプリ第4位を受賞。2020年度2月には、「ロケツーリズムアワード」地域大賞を受賞。製作者へ向けたPR動画を発信、「ロケ地マップ」の作成やパネル展の展開が評価され、観光庁から表彰された。さらに、2021年観光庁「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業(第一次)」に選定され、産業とロケ地を掛け合わせ観光資源にしたモニターツアーがメディアで注目されている。</li> </ul>				
取組分野	最も専門性の高い分野	ロケツーリズム=効果的な情報発信による観光振興・地域振興				
	その他活動実績のある分野	農林水産品の開発・効果的なプロモーションによるブランド化				
	その他活動実績のある分野					
	その他活動実績のある分野					
	その他活動実績のある分野					

3. 関連ホームページ	
名称	アドレス
株式会社地域活性プランニング	<a href="https://www.chiikikassei.co.jp/">https://www.chiikikassei.co.jp/</a>
ロケーションジャパン	<a href="https://locationjapan.net/">https://locationjapan.net/</a>
ロケナビ!	<a href="https://locanavi.com/">https://locanavi.com/</a>
ロケツーリズム協議会	<a href="https://locatourism.com/">https://locatourism.com/</a>
4. ふるさと財団での実績	
外 活 用 専 門 成 家	◆2011年度 茨城県筑西市「ロケ誘致による筑西市のイメージアップ戦略」
外 部 短 期 専 門 診 断 派 遣	
地 域 再 生 セ ミ ナ ー	
そ の ほ か	
5. 財団報告書	
名称	アドレス
平成23年度 新・地域再生マネージャー事業	<a href="http://www.furusato-zaidan.or.jp/3-H23-shinchiikisaiseiM-houkokusho.pdf">http://www.furusato-zaidan.or.jp/3-H23-shinchiikisaiseiM-houkokusho.pdf</a>
6. 写真・ひとことPR	
	<p>&lt;ひとことPR&gt;</p> <p>私の役目は、地域の良いところやそこで活動している人の良さ“強み”を引き出すための『コーチング』。地域のみなさんが、誰かに頼るのではなく『何のために』、『誰のために』、『どうなりたいのか』を自ら考え、一人一人が汗をかいて頑張れるような自立型の地域活性を目指しています。</p> <p>また、地域で頑張る人々を取り上げ、応援する雑誌『ロケーションジャパン』の発行人も務めております。国内初のロケ地情報誌であり、地域独自の資源を再発見できると、マスコミから一般読者の方まで幅広く読んで頂いております。まちづくりの主役となる地域の人々が、「どのように活動して」、「どう変わったか」というビフォー・アフターが見えてきますのでぜひご一読ください。</p> <p>未来のふるさとの為に、一過性に終わらない、持続可能な地域活性のお手伝いをしています。何かお役に立てることがありましたら、お気軽にご連絡ください。</p>